

輪 中 開 拓

編 集 発 行
 安八郡輪之内中学校
 PTA 会 報 委 員 会
 題 字 山 田 義 雄
 印 刷 (株)ダイキュー

臨海学習を終えて

二年主任 渡辺 勝久

八月三日、四日の宿泊研修。一番うれしかったことは、一三三名全員が参加できたこと。このことは、二年当初の社会見学で欠席者が二名だったことから考えて、少しずつではあるが学級が、生徒一人一人が成長してきている証しだと考えます。

あの青く澄みきった海、沈みゆく太陽に映えた海、さながら絵はがきを見ているようでした。「あの広い海原のまっただ中、灼熱の太陽の下で、皆と力一杯漕いだカッター」が印象に残ったというA君。「カッターを漕ぎ終わった後の爽快感が忘れられない」というB君。「あの蒸し暑かった宿泊棟で、寝つけずにしゃべり合っていた」C子さん。D子さん。「久しぶりに、青い海で泳ぎ水と戯れて気持ちがかさかした」というE君。「無事帰ってきて、解散式を終えてホッとした」F子さん。二年生全員が何か一つは、一人一人が思い出のページを作れたことと思います。

これからも、二年生全員が学年目標「HOPE」に向かって、希望をもち、けんかをしながらもお互いに助け合いながら成長していこうではありませんか。明るく楽しく、希望に満ちて。



臨海学習での体験

二年三組 浅井 亜美

心に残ったことは全員で協力してがんばったカッター活動です。かなりの距離を休まずこぎ続けるので手が痛くて大変でしたが、とても楽しかったです。海水浴では自然と触れ合え、みんなで仲良く泳ぐことができたのでよかったです。

集合する時、数人が遅れてみんなに迷惑がかかったことがあり、集団行動での時間厳守の大切さを学ぶことができました。臨海学習は私にとって、貴重でよい思い出となりました。

臨海学習を終えて

二年四組 森島 広和

この一泊二日の臨海学習は、はくにとっては、楽しい時であり、良い経験が持てた二日間でした。当日、水泳をしている時にクラゲに刺されたり、夜は、暑くて眠れなかった。又、翌日、カッター活動は、炎天下の中で行われ、とても、暑かったし、早くも二年生も半ばを過ぎましたが、勉強に、運動に、部活に、悔いのない様に生活を送りたいと思っています。

輝りり ～ 迫力・真剣・美～ 体育大会 9月/17日



優勝旗を握った僕の手は震えていた。目には、一杯の涙。僕は本当に緑団でよかったです。

本番、前後半ともに、とても楽しく応援することができました。「緑団優勝」

優勝旗を握った僕の手は震えていた。目には、一杯の涙。僕は本当に緑団でよかったです。

夏休みが明けると、すぐに練習が始まった。みんなに教えるのも、歌を考えるのも、簡単ではなく、時間だけが過ぎていきました。

緑団 緑団団長 森島 将也
僕は七月に、応援団の団長として選ばれました。やるからには優勝、という気持ちで望んで見ましたが、うまくまとまりませんでした。



泣いていた人もいました。僕もぐっとこらえていました。うれしさと共に、感動がこみあげてきました。それもこれも団員みんなが汗を流しのどをからして練習し続けてきたからです。最高の一日でした。

その結果、白団全員の団結と必死の応援で、応援優勝することができました。反省会では、

白団の目標は、応援優勝でした。その目標達成のために、僕は団長としての自覚をもち、団をまとめることに全力をつくしました。

白団 白団団長 安田 匡志
白団・見事応援優勝



白団 白団団長 渋谷 将成
僕は、今まで人前に立った事のない人でした。でも今回応援団長を務め、自分の力で多くの人を動かす事ができました。結果も応援優勝という至福の成績を残す事ができました。しかし、この一ヶ月間、すばらしい時を過ごすことができたことです。

白団 白団団長 安福 康宏
初めの僕は団長という形だけしかなかった。「ただ大きな声を出していれば」、こんな気持ちだった。しかし練習をしていくうちに分かった事がありました。どうしていいのかわからず悩んでなげ出した時、そんな自分を支えてくれた仲間、先輩。「団長頑張て。」

白団 白団団長 安福 康宏
初めの僕は団長という形だけしかなかった。「ただ大きな声を出していれば」、こんな気持ちだった。しかし練習をしていくうちに分かった事がありました。どうしていいのかわからず悩んでなげ出した時、そんな自分を支えてくれた仲間、先輩。「団長頑張て。」

白団 白団団長 渋谷 将成
僕は、今まで人前に立った事のない人でした。でも今回応援団長を務め、自分の力で多くの人を動かす事ができました。結果も応援優勝という至福の成績を残す事ができました。しかし、この一ヶ月間、すばらしい時を過ごすことができたことです。



白団 白団団長 安福 康宏
初めの僕は団長という形だけしかなかった。「ただ大きな声を出していれば」、こんな気持ちだった。しかし練習をしていくうちに分かった事がありました。どうしていいのかわからず悩んでなげ出した時、そんな自分を支えてくれた仲間、先輩。「団長頑張て。」

白団 白団団長 安福 康宏
初めの僕は団長という形だけしかなかった。「ただ大きな声を出していれば」、こんな気持ちだった。しかし練習をしていくうちに分かった事がありました。どうしていいのかわからず悩んでなげ出した時、そんな自分を支えてくれた仲間、先輩。「団長頑張て。」

白団 白団団長 安福 康宏
初めの僕は団長という形だけしかなかった。「ただ大きな声を出していれば」、こんな気持ちだった。しかし練習をしていくうちに分かった事がありました。どうしていいのかわからず悩んでなげ出した時、そんな自分を支えてくれた仲間、先輩。「団長頑張て。」

白団 白団団長 安福 康宏
初めの僕は団長という形だけしかなかった。「ただ大きな声を出していれば」、こんな気持ちだった。しかし練習をしていくうちに分かった事がありました。どうしていいのかわからず悩んでなげ出した時、そんな自分を支えてくれた仲間、先輩。「団長頑張て。」

白団 白団団長 安福 康宏
初めの僕は団長という形だけしかなかった。「ただ大きな声を出していれば」、こんな気持ちだった。しかし練習をしていくうちに分かった事がありました。どうしていいのかわからず悩んでなげ出した時、そんな自分を支えてくれた仲間、先輩。「団長頑張て。」



「強い！」が、私達赤団が親子綱引きをした時の正直な感想でした。背をぬいても、ケンカで勝っても、何をしても、親には、勝てないのかなと思えました。

勝てません…。

今野由香里



37人38脚

一年三組 高橋 優英

僕は三十七人三十八脚のリーダーになり、一位になることと完走することを目標にしました。

そのため朝の会の前や昼休みなど時間を有効に使うことにしました。友達もだんだん注意してくれて、僕の言うことも聞いてくれるようになりました。転んだ人もいましたがぐちを言わず練習してくれました。一度も完走せず本番に挑みました。一度目はこけましたが、二度目は完走できました。一位にはなれなかつたです。



新記録

二年二組 入山 公彦



「やったあ。新記録だ。」ゴールと同時に、僕は思わずみんなに感謝しました。

背中乗りの練習を始めたころ背中に一歩をかけると「いて！」という声と同時に馬がふらつき、ぼくも落ちていた。その後、練習をくり返してきました。

しかし、ぼくは学級のまとまりをくずすような失敗をしてしまいました。でも、話し合いをして学級で目指すものを確認し、心を一つにして再スタートをした。

当日、僕は精一杯の走りで見んなの背中をかけぬけました。

大人の世界は、どうだったかな？

がんばる姿

一年一組 高橋 直樹

二年三組 吉田 愛美

福束保育園での職場体験

最初は子供達と仲良くなれるかすごく不安でした。でも、子供達の方から話かけてくれたり、手をつないでくれたり、とてもうれしかったし、勇気づけられました。私ばかり勇気づけられてはいけなかったので、私にできる精一杯のことをしました。紙しばいを読んであげたりもしました。子供たちと別れるのがすごく悲しかったです。とてもいい体験をさせてもらいました。

僕が見た特別養護老人ホーム「あすわ苑」で働く父の姿

一年二組 金森 隆二

職場体験について

二年四組 服部 真和

父の職場を見学し苑長のお話を聞いた時、父の仕事の大切さを知りました。なぜなら、食べることに、お風呂に入ることに、普通のことが出来ないお年寄りにやさしく接している父やあすわ苑の人達。うれしそうなお年寄り。僕は胸が熱くなりました。父をほこりに思い、この体験学習を出来たことがとても良かったと思います。

ぼくは、はじめて職場を体験していろいろなことを、学びました。ずっとたちっぱなしで、すぐ足や手がかれます。

職場の大人の人は、いっしょうけんめいやっています。母さんや父さんたちは、毎日こんなえらいことをやっているんだなあ。とぼくは、感心しました。

とてもながい一日でした。

KANADA



1978 8.19~2.6



ハリーコリンジ高校と姉妹校提携

8月21日に宣誓書に調印をし、記念品の交換もしました。

浅井 亜美
カナダでは、生の英語を聞いたり、自分でも使ったりしてとても勉強になりました。

小関奈津子
私はカナダに行つて、日本との文化や生活習慣の違いを学ぶことができ、よかったです。

平塚 恵一
カナダに行つて、日本にはない、自然を見れたことが一番心に残っています。

浅野 素世
私はホストファミリーに簡単な日本語を教えることができてよかったです。

木村 裕介
ホストファミリーとの生活が心に残りました。夜遅くまで話をして楽しかったからです。

宮島 健太
カナダで印象に残ったことは、町や自然がきれいで、お風呂の入り方など生活習慣の違いです。

森島 麻美
コロンビア大氷原。寒かったけれど、とてもいい所で、一番心に残っています。

安田 瑛
ホストファミリーは、私を本当の家族のように思ってくれたのでとてもうれしかったです。

教頭 坂 美也子
山々の雄大な美しさ。どこまでも真っ直ぐに延びるハイウェイ。その道端でエルクがゆつたりと草をはむ。厳しく且つどのかな芝生の上での調印式。おらかで細やかな気配りを忘れない人々の温かさ。心に残る八日間でした。

伊藤 幸代
カナダで見た自然は、とても大きくてきれいで、感動しました。

新田 啓真
カナダの自然を見て、木が多かったのと、ごみが一つも落ちていなかったのに驚きました。

伊藤 雅英
カナダのホームステイで、ジエスチャーなどで相手と話すことができてうれしかったです。

野田 裕人
カナダでは、ホームステイ先の子と毎日川遊びや崖で遊んだことが印象に残っています。



ボランテイア

近藤 恵英

去る、七月二十六日奉仕作業があり、多数の、御父兄の参加をえて、無事終了しました。初めて、試みた事でした。が、子供達の動ける環境作りができ、又、親御さん同士の交流ができました。



ワークキャンプについて

吉安由香梨
老人との接し方、介護の仕方等、戸惑うことが多い三日間でしたが、これから真剣に立ち向かおう。はいけない。福祉々々を考えるための体験ができました。



バーベキューについて

近藤 朋恵
私は、どうしたらうまく接することができるのか戸惑いでいっぱいでしたが、ゲームやバーベキューをして、自然に話ができとても楽しく過ごせました。

編集後記

主な行事も次々と終り、いよいよ秋も本番。親子で広報紙を読みながら、語り合い、ふれ合いをさらに深められることを願ひ、第九十四号をお届けします。

